

# 段階確認一覧表

別紙-1

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	
				現 行	試 行
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回/1工事	—
河川土工(堀削工) 海岸土工(堀削工) 砂防土工(堀削工) 道路土工(堀削工)		土(岩)質の変化した時		1回/土(岩)質の変化毎	1回/土(岩)質の変化毎
道路土工(路床盛土工) 舗装工(下層路盤)		ブルーフローリング実施時	ブルーフローリング実施状況	1回/1工事	—
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	一般:1回/1工事 重点:1回/100m	—
	置換	堀削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ	一般:1回/1工事 重点:1回/100m	—
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ	一般:1回/1工事 重点:1回/100m	—
パーチカルドレーン工	サンドドレーン	施工時	使用材料、打込長さ	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
	袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン	施工完了時	施工位置、杭径	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
締固め改良工	サンドコンパクションパイル	施工時	使用材料、打込長さ	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
		施工完了時	基準高、施工位置、杭径	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌	施工時	使用材料、深度	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
	セメントミルク攪拌 生石灰パイル	施工完了時	基準高、位置・間隔、杭径	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	一般:1回/200本 重点:1回/100本	—
矢板工(仮設を除く)	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板+	試験矢板
		打込完了時	基準高、変位	一般:1回/75本 重点:1回/50本	
	鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板+	試験矢板
		打込完了時	基準高、変位	一般:1回/75本 重点:1回/50本	
既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	試験杭+	試験杭
		打込完了時(打込杭)	基準高、偏心量	試験杭+	
	堀削完了時(中堀杭)	堀削長さ、杭の先端土質	一般:1回/10本	試験杭	
	施工完了時(中堀杭)	基準高、偏心量	重点:1回/5本		
	杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般:1回/10本 重点:1回/5本	—	

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	
				現 行	試 行
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本	試験杭
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度／1構造物 重点：60%程度／1構造物	一般：15%程度／1構造物 重点：30%程度／1構造物
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本	試験杭
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回／10本 重点：1回／5本	－
深礎工		土(岩)質の変化したとき	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎	1回／土(岩)質の変化毎
		掘削完了時	長さ、支持地盤	一般：1回／3本 重点：全数	一般：1回／3本 重点：全数
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	1回／1本	1回／1本
		施工完了時	基準高、偏心量、径	一般：1回／3本 重点：全数	－
		グラウト注入時	使用材料、使用量	一般：1回／3本 重点：全数	－
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工		鉄杓据え付け完了時	使用材料、施工位置	1回／1構造物	－
		本体設置前(オープンケーソン) 掘削完了時(ニューマチックケーソン)	支持層		1回／1構造物
		土(岩)質の変化したとき	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎	1回／土(岩)質の変化毎
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	1回／1ロット	1回／ロット
鋼管井筒基礎工		打込時	使用材料、長さ、 溶接部の適否、支持力	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本	試験杭
		打込完了時	基準高、偏心量	一般：1回／10本 重点：1回／5本	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	－	
置換工(重要構造物)		掘削完了時	使用材料、幅、延長、 置換厚さ、支持地盤	1回／1構造物	1回／構造物
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線	－
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1法線	－
護岸工	法覆工(覆土施工がある場合)	覆土前	設計図書との対比	1回／1工事	－
	基礎工、根固工	設置完了時	(不可視部分の出来形)	1回／1工事	－
重要構造物 函渠工(樋門・樋管を含む) 躯体工(橋台) RC躯体工(橋脚) 橋脚フーチング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		土(岩)質の変化したとき	土(岩)質、変化位置	1回／土(岩)質の変化毎	1回／土(岩)質の変化毎
		床掘削完了時	支持地盤(直接基礎)	1回／1構造物	1回／1構造物
		鉄筋組立て完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般：30%程度／1構造物 重点：60%程度／1構造物	一般：15%程度／1構造物 重点：30%程度／1構造物
		埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	1回／1構造物	－

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	
				現 行	試 行
躯体工 RC躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1回/1構造物	—
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料、 設計図書との対比	一般:30%程度/1構造物 重点:60%程度/1構造物	一般:15%程度/1構造物 重点:30%程度/1構造物
鋼橋		仮組立て完了時 (仮組立てが省略となる場合を除く)	キャンパー、寸法等	一般: — 重点:1回/1構造物	—
ポストテンションT(1)桁製作工 プレキャストブロック桁組立工 プレフォーム桁製作工 PCホロスラブ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押し箱桁製作工 床版・横組工		プレストレス導入完了時 横締め作業完了時	設計図書との対比	一般: 5%程度/総ケーブル数 重点:10%程度/総ケーブル数	—
		プレストレス導入完了時 縦締め作業導入完了時	設計図書との対比	一般:10%程度/総ケーブル数 重点:20%程度/総ケーブル数	—
		PC鋼線・鉄筋組立て完了時 (工場製作を除く)	使用材料、 設計図書との対比	一般:30%程度/1構造物 重点:60%程度/1構造物	一般:15%程度/1構造物 重点:30%程度/1構造物
橋梁補修工	アンカーボルト工	削孔完了時	削孔長、削孔径、孔内洗浄状況	1回/1構造物	1回/1構造物
トンネル掘削工		土(岩)質の変化したとき	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	1回/土(岩)質の変化毎
トンネル支保工		支保工完了時(支保工変更毎)	吹き付けコンクリート厚、ロックボルト打ち込み本数及び長さ	1回/支保工変更毎	—
トンネル覆工		コンクリート打設前	巻立空間	一般:1回/構造の変化毎 重点:3打設毎又は1回/構造 の変化毎の頻度の多い方 ※重点監督:地山等級がD,Eのもの 一般監督:重点監督以外	—
		コンクリート打設後	出来形寸法	1回/200m以上臨場により確認	—
トンネルインパート工		鉄筋組立完了時	設計図書との対比	1回/構造の変化毎	1回/構造の変化毎
ダム工	各工事ごと別途定める。		各工事ごと別途定める。		各工種ごとに検討
浚渫		施工完了時	浚渫断面の深さ、幅、長さ	1回/1工事	—
床掘り		施工完了時	床掘り断面の深さ、幅、長さ	1回/1工事	—
地盤改良	置換え	掘削完了時	使用材料、幅、延長、置換え高さ、支持地盤	1回/1工事	—
	敷砂・砕石マット載荷	施工時	使用材料	1回/1工事	—
		施工完了時	延長、天端高、天端幅、法面勾配	1回/1工事	—
	ロッドコンパクション (振動棒工法)	打込み時	充填材料、打込み間隔、配置、締固めストローク、起振力	1回/1工事	—
		施工完了時	天端高、先端深度、施工位置、杭径	1回/1工事	—
	深層混合処理	試験打ち時	位置、深度、施工方法	試験打ち時	試験打ち時
打込み時		硬化材添加量、打込み深度	1回/1工事	—	

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	
				現 行	試 行
マット		設置完了時	使用材料、設計図書との対比	1回/1工事	—
捨石及び均し	基礎 被覆及び根固め 裏込め	施工時	使用材料	1回/1工事	—
		施工完了時	均し面の高さ、天端幅、延長等	1回/1工事	—
控工		施工時	材料及び形状寸法	1回/1ロッド	—
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	1回/1工事	—
		施工完了時	取付高さ、角度、間隔、天端高、延長等	1回/1工事	—
ケーソン	ケーソン製作	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	1回/1層	1回/2層
	ケーソン据付	据付完了時	法線に対する出入り、据付目地間隔、天端高、延長	1回/1構造物	1回/1構造物
コンクリートブロック	ブロック	製作時	幅、高さ、長さ、壁厚、対角線	1回/50個	—
		据付時	法線に対する出入り、据付目地間隔、天端高、延長	1回/1工事	—
	異形ブロック	製作時	形状寸法、ブロック外観	1回/50個	—
中詰	中詰	施工完了時	天端高等	1回/1構造物	—
	蓋コンクリート	施工完了時	天端高等	1回/1構造物	—
係船柱		基礎施工時	アンカー設置状況等	1回/1規格品	—
防舷材 車止め		設置完了時	設置位置等	1回/1規格品	—
防食		塗装完了時	塗装状況	1回/1工事	—
		素地処理後	素地調整	1回/1工事	—
		施工中及び施工後	電防陽極及び被覆防食	1回/1工事	—
溶接		施工前	溶接面処理	1回/10箇所	—
		施工後	アーク溶接、水中溶接	1回/1箇所	—
ガス切断		施工後	形状寸法、外観	1回/10箇所	—
汚濁防止膜工		施工後	設置場所	1回/10箇所	—

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目	確 認 の 程 度	
				現 行	試 行
木製構造物(床堀等を行うもの)		土(岩)質の変化したとき	土及び岩の契約分類毎に地質境界線を確認	1回/土(岩)質の変化毎	1回/土(岩)質の変化毎
		埋戻し前	不可視部分について、埋戻し前に設計図書と対比し確認	1回/1構造物	—
簡易木製構造物 (柵工、筋工等)		施工時	施工位置について、地形・地質等を考慮して位置を確認	1回/設置前	—
植栽工	地 拵	完了時	刈り払い、伐倒高さ及び刈り払い、伐倒後の処理等の施工状況及び施工面積の有無	完了時1回	—
	追 肥	完了時	肥料の種類、散布、覆土等の施工状況及び施工面積の有無を確認	完了時1回	—
保育	下刈り	完了時	刈り払い、高さ等の施工状況及び施工面積の有無	完了時1回	—
	つる切り	完了時	切断高さ、除去等の施工状況及び施工面積の有無	完了時1回	—
	雪起し	完了時	植栽木が垂直になるよう引き起こされているか確認	完了時1回	—
	根踏み	完了時	植栽木が垂直になるよう根元が固められているか	完了時1回	—
	地 拵	完了時	刈り払い、伐倒高さ及び刈り払い、伐倒後の処理等の施工状況及び施工面積の有無	完了時1回	—
	追 肥	完了時	肥料の種類、散布、覆土等の施工状況及び施工面積の有無を確認	完了時1回	—

**【凡例】**

— : 請負者の自主検査記録を適切な時期にサンプリングにより確認する。なお、試行案で自主検査記録によるとしている場合でも、設計変更に関する確認が必要となった場合は、従来どおり「段階確認」を行うものとする。なお、1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位(目地)毎とする。

一 般 : 重点監督以外の工事(一般監督)

重 点 : 下記の工事(重点監督)

イ 主たる工種に新工法・新材料を採用した工事

ロ 施工条件が厳しい工事

ハ 第三者に対する影響のある工事

ニ その他